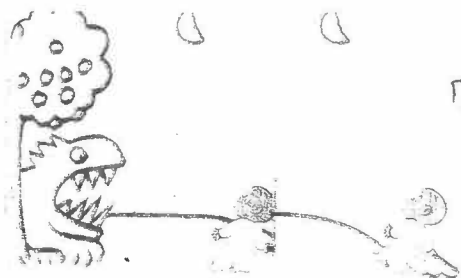


12月

の園便り



「はるどと
むらさきのくれよん」

令和3年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

ある年の12月の初めのこと、きりっとした空気の中、雨上がりの園庭に出た子どもたちと「水たまぼうや」を探したことがありました。園庭に出てみると、鉄棒の下、ジャングルジム、ブランコにも水たまぼうやがぶら下がっています。しずかに、ず～とそのままの形で鉄棒につかまっている水たまぼうやたち・・・子どもたちはキラキラした水たまぼうやを見つけて「ここにもいたよ」「ここにもいた!」と大きな声で教えてくれます。松の葉の先についている水たまぼうやも見つけて、「お星さまみたいだね」「クリスマスツリーみたいだね」と言っていました。手のひらや指の先をそっと水たまにつけて自分の手の上に水たまを乗せて、「ほら、キラキラの宝石だよ」の保育者に見せてくれます。子どもたちとキラキラした水たまの美しさを共有できる幸せな時間でした。

自然は感性を育んでくれます。水玉の美しさにうわ～と驚くことができる幼児期なのです。でもこうした自然に触れる機会がなければ、子どもたちが持っている素晴らしい感性は目を覚ますことがないでしょう。水たまを宝石より美しいと思える感性、水たまを愛おしく思って、自分の手のひらに乗せようとする感性は、幼児期にこそ育まれるものなのです。感性が育つポケットは幼児期に大きく開いていますが、大きくなるにしたがって感性のポケットのふたは閉まっていくのです。最も感性が育まれる幼児期に、自然の中でたくさん遊んで欲しいと思っています。

感性がきちんと育まれた人は、ものごとに対して深く感じるできるようになりますし、人を感覚で理解することができるので、友だちが何を考え何を感じているのか、想いを馳せることもできるでしょう。また、表情や言葉には表われない心情をも読み取ることができて、人との関係をきちんと作ることができるようになるでしょう。

また、場の空気を感じることもできるので、その場に適した行動を取ることもできますね、芸術作品を見てその良さを感じたり、小説や映画を見てストーリーに共感し、音楽を聴いて心を動かされることでしょう。そして何より、混沌とした社会の中で真実を見抜き、正しさを求める姿勢を持つことができ、また、真に価値ある物と偽りの物とを見分けることができる「勘」を持った大人になることができることと思います。

幸いにも、青陵幼稚園は有り余るほどの自然に恵まれています。松林はたくさんの植物が毎日のように姿を変え、変化し続けます。海も季節や天候によって表情を変えます。暑さも寒さも感性を育みます。自然の中だけで、子どもたちは感じる力をフル活動させることができます。身の回りにあふれるほどの自然があることに感謝しつつ・・・

12月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	水	○	2:30		
2	木	○	2:30		
3	金	○	2:30		
4	土				
5	日	/	/		
6	月	○	2:30		
7	火	○	2:30		
8	水	×	11:30	誕生会です、12月生まれの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう	
9	木	○	2:30		
10	金	○	2:30		
11	土				
12	日	/	/		
13	月	○	2:30		
14	火	○	2:30		
15	水	○	2:30		
16	木	○	2:30		
17	金	○	2:30		
18	土			アドヴェントの庭 詳細はクラスのお便りをご覧ください	
19	日	/	/		
20	月	×	11:30	個人懇談会です。 詳細はクラスのお便りをご覧ください	
21	火	×	11:30	個人懇談会です。	
22	水	×	11:30	個人懇談会です。	
23	木	×	11:30	第2学期終業式です。	
24	金	/	/	本日より冬休みです。 星の子は行います。	
25	土	/	/	〃	
26	日	/	/		
27	月	/	/		
28	火	/	/		
29	水	/	/	冬季休業	
30	木	/	/	〃	
31	金	/	/	〃	